

事業所名 NPO法人なかよし会 なかよし教室

支援プログラム

作成日 令和7年 2月 19日

法人（事業所）理念	なかよし会は、「地域の障がい者・児が生き生きと輝きの人生を歩むためのコミュニティの確立」を使命とし、障がい者・児が様々な経験を通じて豊かな時間を過ごし、生きがいを感じられるような事業を行っています。また、障がい者・児の活動が地域で理解され、役割をにない、共存するための事業を行うことで、障がい者が地域の中で共に生きるための潤滑油のような拠点となることを目指します。				
支援方針	1. 協調性を養う 仲間と過ごす時間の大切さを感じることで、集団活動を通じて、協調性を養います。 2. 社会性を養う 放課後を充実した豊かな時間にするために、地域の中での活動を意識することによって、社会性を養います。 3. 生きていく力をつける 将来のために様々な実践活動を通じて経験を重ねることによって、将来に向けてたくましく生きていくことができる力を育てます。				
営業時間	12 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・ADL動作（食事・排泄・衣服の着脱）、APDL動作（生活に関連する動作）など、健康的な生活を送ることができるための支援を行います。手洗いや手指消毒等、感染防止に関する支援も行います。体調については、通所時に健康状態を確認し、服薬状況等も適宜把握するようにしています。日常にまつわる動作を、通所児童一人ひとりが進んで、また、自分でできることを増やしていきけるよう、その子の特性や発達段階を踏まえた関わりを持ちます。			
	運動・感覚	・公園あそびやサーキット、ダンスレクリエーションを通じて、姿勢保持や筋力の維持・向上を図り、自分の身体を自分でよりよく使っていきける支援を行います。 ・様々な素材に触れ合う「感覚あそび」を通じて、触覚にアプローチする支援を行います。 ・音楽あそびや工作、絵画教室を通じ、聴覚・視覚にアプローチする支援を行います。			
	認知・行動	・その日の活動に見通しを持って参加できるよう、通所児童全員で予定を確認する「説明の時間」を設けています。 ・レクリエーション活動や自由時間のカードゲーム、時間の確認等、その子の持っている認知機能に即した支援を行います。 ・買い物や外出活動を通じ、社会経験を積んでいけるよう支援しています。			
	言語コミュニケーション	・言語、非言語サインを用いて、一人ひとりの気持ちや考えを表出できるよう支援します。表出方法は、その子により異なるので、その子が分かりやすい方法で気持ちを聞いたり、相手の気持ちも伝えるように支援を行い、他者や友だちとのやり取りができる場を提供します。 ・場面にあった振る舞いや言葉を用いることができるよう支援しています。			
	人間関係社会性	・一人ひとりの気持ちに寄り添った声かけや関わりに努め、より良く他者と関わる力向上できるよう支援します。 ・集団活動を通じて、ルールや順番を守ること、他者と協調して行動できる力を養います。 ・役割を持つ経験を通じ、自己への自信を高められるように支援します。 ・安心して過ごすことができる「居場所」になるような場づくりを行います。			
家族支援	・連絡帳でのやりとりや送迎時の会話を通じ、日常生活の様子を共有します。 ・個別面談を通じ、発達の状況等を相互に確認し、困っていること等への相談援助を行います。 ・保護者会活動を通じ、保護者相互、また職員と保護者のつながりを深める機会を持っています。	移行支援	・学校やその子が利用している他機関との連携を必要に応じて行い、場合により、関係者会議等へも出席しています。 ・卒後の進路先とも、状況に応じて連携しています。		
地域支援・地域連携	・地域が開催する行事やおまつりに参加したり、学童保育所の子どもたちと交流する機会を持ったり、地域の公園の清掃や廃品回収等を活動に取り入れています。そのことにより、児童一人ひとりが住み慣れた地域で自信を持って活躍できること、そして地域への理解を深めることに繋がっています。	職員の質の向上	・通所生へ提供する支援の質を向上するため、職員会議を毎月開催しています。 ・策定しているマニュアルの内容を全職員に周知する機会を持っています。（法定研修の実施） ・ケース検討の実施等 ・職員との個別面談や、活動の前後にミーティングをすることで、職員の悩み等を把握し、相互に話し合う機会を設けています。		
主な行事等	・毎月季節の行事を取り入れ、季節感を感じられるようにしています。 ・学校の夏季休暇中には、バスをレンタルして遠足に行きます。 ・防災訓練や手洗いの練習等、定期的を実施しています。				